

## 第9回 おーラジ放送番組審議会議事録

開催日時 令和元年11月14日(木)13時30分～15時00分

開催場所 小山市水道事業 2F 会議室

委員出席 審議委員総数 8名

出席委員数 8名

### ■出席委員(敬称略)

小林 功 会長(小山市総務部長) 進行

片岡 三夫 副会長(小山市消防本部 危機管理監)

添野 雅夫 委員(小山市教育委員会 教育部長)

蓼沼 浩 委員(小山警察署 署長) ※代理出席 小峯 信也(警務課長)

中村 崇人(小山農業協同組合 総合企画室長)

尾林 正人 委員(小山商工会議所 事務局長)

内田 敏子 委員(消費者友の会 会長)

細井 眞樹子 委員(おやま男女共同参画の会 副会長)

### ■放送事業者側出席者

宇和嶋 則夫 おーラジ 局長(テレビ小山放送 取締役本部長)

加藤 善 おーラジ 局長代理(テレビ小山放送 コミュニティ FM 部長)

棚澤 美穂 おーラジ 事務

### 【会議進行内容】

1. 開会
2. 局長あいさつ
3. 報告

### 【おーラジ運営状況報告】(資料参照)

加盟店数・スポットCMクライアント数・オリジナル番組数・おーラジカード会員数

おーラジスマホアプリダウンロード数・レポート回数の報告等

(事務局) 現在1月～3月号の加盟店獲得のため営業に励んでいる。

### 【放送報告】(資料参照)

(事務局) 9月6日に行われたビール祭りでは音響を、9月7日小山市総合防災訓練では音響とアナウンスを担当した。

11月4日開局2周年イベントとして、こどもパーソナリティ体験・道の駅思川にてサテライト放送(「開局2周年だよ!おーラジ」)を行った。

300人を超える方々が来て下さった。コラボカードの発行も行い、約160枚発

行することができた。

毎月1日、11日、21日に防災ラジオ自動起動試験放送を行った。(9月から試験放送を曜日ではなく、日にち固定に変更。)

【警報】(別紙参照)

【防災ラジオ】(資料参照)

(事務局) 台風で防災ラジオの販売台数が増えた。(警報、避難場所等聴きたい方が増えた。)

## 6. 議事

【放送番組の審議】

審議対象番組について各委員より放送聴取の感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進めた。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答を行った。

①審議番組 さくらじお(令和元年10月23日(水)10時台放送)

※パーソナリティ：三上雅子

(委員) アクセントがおかしいと思ったところがあった。  
同じ言葉が何度もでてくるので堂々巡りで何が言いたいのか?分からないところがあった。

(事務局) 早口すぎるところがあるので、修正していきたい。

(委員) 選曲がとてもよかった。(ラグビーの応援ソングで元気がでた。)  
お店の紹介の際、カレー屋の方は細かい情報があり分かりやすかったが、美容室の方はカットの良さは分かったが、もう少し情報がほしかった。

(委員) お昼にゴミの話がありますよ。と話していたが、その時間に聴けない人もいるのでその時も話していただくとよかった。

(委員) ターメリックライスが「ばさばさ」で美味しかった。と話していたが、「パラパラ」と表現すべきだったのではないか。

(委員) さくらじおは何を目的に話しているのか?(テーマはないのか?)  
気楽に聞くのであればいい番組だと思った。声も聴きやすい。

(事務局) テーマはなく、パーソナリティが思ったこと(主婦の目線、子育てなど)を話している。

(委員) 縮んだセーターの話はNHKで調べたことを話していてよかった。

(委員) 洗濯間に合うかもしれないが自己責任でお願いします。は違うと思った。

(事務局) 放送で使うにはよくない表現だった。

(委員) カレー屋の話をする際、最後に場所の説明があったが、まずどこにあるか伝えてもらった方がイメージがわかりやすい。

(委員) 地元の話、地域の特性を聴くことができ、ためになり興味をもった。

②審議番組 台風19号緊急延長放送（10月12日(土)～13日(日)）の一部を編集(36分)

- (委員) 「浸水します。」との発言があったが、この表現はどうかと思った。
- (事務局) 小山市から届いた情報をそのまま読み上げたが、原稿をそのまま読むのではなく、言葉を変えてもよかったと思う。（「浸水のおそれがあります。」）断定してはいけない。
- (委員) いつもの延長放送のように1時間に一回放送していたのか？
- (事務局) 今回は小山市から情報が入り次第、随時放送を行った。
- (委員) 情報を得られる安心感があった。夜通し放送してくれたことも安心だった。NHKなどでは伝えられない情報がおーラジにはあり、小山市の情報はおーラジで聴こうと思った。
- (委員) 緊迫感のある時は緊迫感を出す声の出し方など考えたほうがいいのでは？
- (事務局) 慌てなくていい場合、慌ててほしい場合など状況が様々なので、その場面場面でメリハリをつけて放送していきたい。
- (委員) おーラジがなかった時と比べ、情報ツールとして役に立っていて、使命を十分果たしていると思う。
- (事務局) 今回、21時から翌6時まで3人で対応した。3人は日中から24時間以上働いていた。話す以外の情報収集などの仕事は別の社員でもできる。今後は時間差出勤や交代制のシフトなど緊急放送時の体制を考えていきたい。
- (委員) 消防、おーラジ、警察の連携をしていかなければいけないと思った。連携方法など話し合っていきたい。
- (事務局) 警察からの情報は有効な情報であり、伝えていきたいと思う。
- (委員) 自主避難時など明確に繰り返し伝えてほしい。聴きやすい放送をお願いしたい。

7. その他 おーラジに関してのご意見、ご質問  
番組審議員の皆さんにおーラジカード兼小山評定ふるさと応援し隊員証のカード発行（コラボカード・缶バッジ）を行った。

8. 放送番組審議会の次回開催について  
次回の番組審議会は仮で2月6日(木)10時に開催することを全員一致で承認。2週間前に調整のご連絡をする。